

さらに、医療費データを有効に活用しながら、介護保険部門と連携し、保健事業と介護予防事業の一体的な実施に取り組み、被保険者の健康保持に努めてまいります。

3 都市計画・街づくり

中心・安心・先進で、
ぎゅぎゅつと便利がつまったまち

■ 都市計画と土地利用

昨年度策定した『大河原町都市計画マスタープラン』に基づき、未整備になっていた都市計画道路の見直しを行ってまいります。

■ 公園の維持管理

公園サポーター制度の見直しにより、地域住民と協働で維持管理を行い、駅前広場や自由通路についても、老朽化対策として修繕やバリアフリー化をすすめ、誰もが安心して利用できるよう整備してまいります。

■ 白石川右岸河川整備事業

ウォーキング・サイクリングロード整備の一環として、堤防天端部分の舗装工事を行い、自転車と歩行者が安全に通行できるように道路改良を行ってまいります。

■ 国民年金事業

年金事務所と情報連携を密にし、制度周知対策はじめ各種申請受付などを実施してまいります。



白石川右岸河川敷

■ 道路橋梁の整備と維持管理

町道の整備については、長寿命化計画に基づき『上大谷線』などについて、大型車両に対応した舗装構成の改良や打ち換え工事など適正な維持管理に努め、安全で快適な通行を確保してまいります。

また、県道については、新開・新寺地区の『蔵王大河原線』や上大谷地区の『白石柴田線』の改良事業が早期に完了するよう関係機関への働きかけを継続してまいります。

次に、大雨による道路の冠水対策については、排水樋門の適正な管理はもとより、被害の軽減を図るため、東桜町地区において仮設の排水ポンプが設置できるように整備してまいります。

道路排水側溝の整備については、交通安全プログラムに基づき金ヶ瀬小学校周辺の側溝有蓋化を進め、通学路の安全確保を図るほか、各地区の理解をいただき、迅速な修繕管理に努めてまいります。

■ 公共交通対策

『デマンド型乗合タクシー』の運行については、安全運行を確保しながら、利用者の増加と事業経費の削減に努力してまいります。

■ 上水道及び下水道

上水道事業については、継続的な漏水調査や配水施設の修繕、計画的な配水管の布設替えを行い、水道台帳の整備や管路の耐震化を進め、災害時対応の体制強化を図り『いつでも、安全・安心で、おいしい水』の供給を推進してまいります。

下水道事業については、汚

水整備事業として、長寿命化のための更新計画に基づき、老朽化施設の改築・更新を図ります。

雨水整備事業については、鷺沼5号調整池工事の早期完成を目指すとともに、雨水幹線整備の延伸を実施し、浸水被害の解消に努めてまいります。

4 産業・観光

ブランド化とプロモーションで、
誰もがはつらつと働けるまち

■ 農業

農業生産基盤については、農人・農地プランを推進し、農地の効率的利用や耕作放棄地の解消につなげるとともに、経営の安定化を支援してまいります。また、ほ場の大型化・汎用化を目指したほ場整備事業計画を推進してまいります。

水田農業では、麦、大豆等の本作物とともに、産地交付金の活用による特色ある産地形成を図り、農家所得の向上を支援してまいります。

農地の保全については、『農業振興地域整備計画』の全体見直しを行うほか、農業

■ 町営住宅

計画的な維持管理に努め、居住性向上や長寿命化を目的とした改善を進めてまいります。

また、引き続き、耐用年数が経過した町営上谷住宅について、順次解体作業を進めてまいります。

の健全な発展を担える計画を作成してまいります。

有害鳥獣対策については、イノシシ捕獲活動への支援、被害防止施設設置への補助などの対策を講じてまいります。

特産物づくりに関しては、梅、枝豆などの特産品化などの支援を行い、イベントの開催などで、農作物の高付加価値化を目指してまいります。

森林環境の保全については、森林経営管理法に基づき、森林環境譲与税を活用した、森林整備を検討してまいります。

■ 商業・サービス業の振興

商工会と連携を密にして既存商店街等の機能維持と街中のにぎわいづくりを力を入れてまいります。特に、関係機関とのネットワークを強化しながら『食』をテーマにした事業展開、起業・創業支援、事業者交流会等を『にぎわいプラザ』を拠点に進めてまいります。

■ 工業の振興

引き続き、復興特区法や町条例などによる企業支援を継続するほか、新しい企業進出に対応できる工場用地等の検討も進めてまいります。

■ 観光物産の振興

柴田町と連携して「白石川堤『一目千本桜ブランド化』事業」を継続し、令和2年度の東京オリンピック・パラリンピック、令和3年度の東北デスティネーションキャンペーンに向けて、東北全体で外国人観光客の誘致・対応を進めてまいります。また、情報発信、シテイプロモーションを積極的に展開し、町のイメージアップを目指してまいります。

さらには、広域観光連携として、『みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議』、『みや

ぎ蔵王ハーマネー花回廊推進協議会』において事業を開始し、仙南地域を中心とした、周遊観光の充実を図ってまいります。



冬のモニターツアーに参加する台湾の皆さん

『大河原町観光物産協会』

については、『にぎわいプラザ・観光ルーム』を拠点に、

5 学校教育・生涯学習

志たくましく、

おおらかに学び続けられるまち

■ 学校教育

人的環境整備の主な取組としては、大河原中学校35人学級実現のための教員配置のほか、町内児童生徒の学力向上を図るため任期付教職員を追加採用・配置いたします。また、小学校における外国語の教科化対応に伴う、外国語指導助手（ALT）を追

実質的な観光物産振興の中心的役割が担えるよう、協会の一般社団法人設立など、運営及び組織の強化に対し支援を進めてまいります。

■ 労働政策

大河原公共職業安定所などの関係機関と連携を図りながら、雇用促進や就職支援に取り組みます。

シルバー人材センターについては『はたらく館』に事務所を移転し高齢者就業の拠点性が高まっております。高齢者の働く意欲と心身の健康、地域活性化への貢献が期待され、引き続き運営を支援してまいります。

学力向上を引き続き行つてまいります。

情報化社会に対応できる人材育成のための取組としては、各学校に教育用タブレットパソコンの追加配置と、併せてプログラミング教育に対応する学習環境の整備を推進します。

国際理解教育としては、国際教育交流事業を推進し、他国との交流を通じて、子どもたちに将来の夢や希望を現実させる力や、実践的な態度などを育成するため、海外での体験学習を行ってまいります。

大河原中学校体育館



■ 学校施設の維持管理

各学校のトイレ改修を着実に進めてまいります。また、建設から55年を超えた大河原中学校体育館の建て替

え事業に着手いたします。さらに、旧学校給食センターについては、大河原中学校体育館の建替事業計画を考慮しながら、解体工事を実施してまいります。

■ 生涯学習と社会教育の充実

生涯学習課と各施設が連携しながら、自主的な学習活動を支援してまいります。

また、地域学校協働活動事業や地区子ども会の育成指導などきめ細かな支援を行います。さらに、地域と学校が連携・協働する体制を強化するため、地域学校協働本部の立ち上げを検討するとともに、放課後子ども教室事業についても、地域の皆さまの協力を得ながら、引き続き実施してまいります。

地域文化財の保護と活用については、民俗資料収蔵室の公開と利用促進、文化財講演会の開催、無形文化財の伝承保護や後継者育成等の支援を行ってまいります。

■ 中央公民館と金ヶ瀬公民館

中央公民館については、公民館と地域産業の振興・活性化を行う『にぎわいプラザ』との機能連携を図りながら利用者には喜ばれ親しまれる